

平成25年度

事務事業評価表 A（平成24年度の実績評価）

記入年月日
平成 25 年 4 月 1 日

Table with columns for '事務事業名' (Project Name), '区分' (Category), '事務事業No.' (Project No.), and '課内No.' (Section No.). It details the 'ブックスタート事業' (Book Start Project) under '政策体系' (Policy Framework) and '財務会計上の位置付け' (Financial Accounting Positioning).

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

Table for '事務事業の概要・手段・目的・結果と各指標' (Overview, Means, Purpose, Results, and Indicators). It includes sections for '概要・手段' (Overview/Means), '目的' (Purpose), and '結果' (Results), with specific indicators for activity counts, target groups, and success rates.

Table for '指標値の推移' (Trend of Indicator Values). It shows data for indicators 6, 7, and 8 across years 22 to 28, with columns for '22年度(実績)', '23年度(実績)', '24年度(実績)', '25年度(計画)', '26年度(目標)', '27年度(目標)', and '28年度(目標)'.

Table for '投入量(事業費)の推移' (Trend of Input/Expense). It details financial inputs (国庫支出金, 県支出金, etc.) and personnel costs (正規職員従事人数, etc.) from 2013 to 2028.

Table for '当該年度の実施内容' (Implementation Content of the Current Year). It lists the implementation content for years 25, 26, 27, and 28, with a note to enter details for the current year (25) in the provided categories.

事務事業名	ブックスタート事業	事務事業No.	30213213	所属課	生涯学習課
-------	-----------	---------	----------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
 桜川市では、家族のふれあい(読み聞かせを通して)平成18年度より実施。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 現在7年目の事業である。当初は3・4ヶ月児のBCG接種の際の2会場で、年12回の実施であったため、対象者のほとんどが出席していました。現在は、4～7ヶ月児の育児相談時の実施となり、幾分出席率が低下しています。回数についても4年前から岩瀬福祉センターで年6回、真壁保健センターで年5回。一昨年は、岩瀬会場は同様に6回、真壁会場は3回、昨年は岩瀬会場は同様に年6回、真壁会場は4回の実施でした。当日欠席の赤ちゃんについては、連絡をし、それぞれの中央公民館及び真壁図書館に取りに来てもらい事業の趣旨を伝えて渡しています。

【See】 2. 評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目	
目的 妥当性	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 生涯学習の機会の充実、子育て支援事業の充実
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？)(法定受託事業はその名称) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 誰にでも平等に本とふれあう機会づくりとしての予算の投入は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である 対象が0歳時であるため、妥当である。
有効性	④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない ブックスタートバック(絵本1冊・アドバイス集1冊)を趣旨説明しながら1組の親子に1人のボランティアが対応している。絵本にふれあう最初の機会を与えることで、図書への関心を持ち図書室の利用に繋がる。真壁図書館では、赤ちゃんの本に印を付け、親子で読み聞かせができるスペースを確保している。大和・岩瀬中央公民館図書室では、開架スペースの確保が困難な状況である。この事は、これからの課題となる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 すべての赤ちゃんに対しての事業であるため、本との出会いを失ってしまう恐れがある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段が無い 具体的な手段、事務事業名 健康推進課との連携により4～7ヶ月の育児相談の際に実施している。 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ブックスタートバック(絵本1冊・アドバイス集1冊)を手渡すことで事業の目的を果たすことができるので削減できない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ブックスタートボランティアの協力によって事業を実施しているので削減できない。
公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である ブックスタート事業を行っている育児相談に欠席された対象者にも連絡をし、配布している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	赤ちゃん・保護者・ボランティアが、「赤ちゃんと絵本を開く時間の楽しさ」を一緒に体験することで、一地域みんなで子育てを応援しますよーという気持ちも自然に伝わります。1対1であるからこそ、一方通行でない会話が自然と生まれ、人と人との繋がりが生まれます。																					
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果(終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																					
(3)-1 改革改善策																						
図書室においてブックスタート後に利用する方が多くなっている。各図書室では、赤ちゃん向けの図書を選別し、たくさん本に親しんでもらえる環境作りをしなければならない。まずは、資料の選別、その資料を置く場所を決め、配架する。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
この作業には、人的な配置、新たな資料の購入も必要となる。また、岩瀬・大和中央公民館の図書室が狭い為、ベビーカーなどを置く場所なども考えなければならない。																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>